

字ノ通用ニシテ天香山社中ノ義ナランカ。

神 戸

天平二年大倭國正稅帳曰 畝尾神戶 稻捌拾陸束 租肆束 合玖拾束 用肆束 祭神 殘捌拾陸束新抄格勅符抄曰 畝尾神 一戸 大和

畝尾都多本神社 香久山村大字木本ニアリ。延喜式神名帳ニ「畝尾都多本神社」五郡神社記ニ「畝尾都多本神社一座。在香山北山尾。或曰。都多本神者啼澤女命。古事記上所謂香山之畝尾木本。即言此處也。」トアリテ即チ啼澤女命ヲ祭ル。創始詳ナラズ。古史ニ據ルニ啼澤女ハ伊弉諾尊ノ墮涙ノ化成セルモノト云ヒ、其ノ社地ヲ哭澤社ト謂フト云フ。名勝タリ。

萬葉集

哭澤の神社に神酒すえ禱ひ祈めど

わか王は高日知らしぬ

卷 二

石寸山口神社

天平二年大倭國正稅帳ニ「石寸山口神戶 稻捌伯壹束 租壹拾束 合捌伯壹拾壹束

用肆束 祭神 殘捌伯漆束」延喜式神名帳ニ「石村山口神社 新嘗」又祈年祭式ニ「石村山口社加馬一疋」ト見ユ。當國十五處山口社ノ其ノ一ナリ。五郡神社記ニ「石寸水分神社。帳云十市郡石寸山口座神社一座。在池上郷石寸山裂谷。爲石寸川之上。愚僕考案。石寸山口坐神者水分御子守神。大

和國八郡水分社之内也。又案云々。大和國山川名所記曰。石寸山亦云石村山。到此見之。石寸

此云 山者。多武峰西並今存。在中香山南東。齊明天皇紀所載。天皇使水工穿渠。自香山西至石寸。上調石上云伊波。山是也。此石上山與山邊郡石上。山同字異訓也。又案。石寸山之谷水川。與合橋山。之流水川。落合。歷城下郡。入大和河也。上件大川。二水相合ヒタルモノ。名云石寸川。亦云八釣川。或云多武峯川。見于大和國山川名所記。トアリテ。當社ハモト石寸

山。一ニ磐余。又石村。ノ咽口ニ於テ山靈ヲ祭リタルモノナルモ、其ノ地正ニ石寸川ノ水上ニアリテ、石根等ニ作ル。大ニ水利ニ關係ヲ有スルヲ以テ一ニ之ヲ石寸水分社ト稱セラレ、新年ノ班幣ニハ他ノ水神ノ例ニ準ジ殊ニ馬一匹ヲ加ヘラレタルモノナリ。然ルニ大和志ニ「在長門邑。々屬櫻井阿倍二村。今稱雙槻神社。」ト云ヒ、今櫻井町大字谷ノ村社ヲ以テ式内山口社ト稱スルモ、大和志ノ言フ所何ニ據リシヲ詳ニセズ。

註 神社明細帳ニ、十市郡谷村字コモ山村社石寸山口神社、祭神大山祇神、由緒貞觀元年正月授正五位下延喜式内トアリ。

高家阿倍神社

延喜式神名帳ニ「城上郡高屋安倍神社三座 並名神大 月次新嘗」ト見ユ、モト城上郡ノ分内タリ

シヲ、後、郡境ノ變遷ニヨリ本郡ニ屬セリ。祭神ハ土御門家譜ニ「孝元天皇々子大彥命後胤倉橋麻呂一名内麻呂、稱高屋明神。」又大和國陳迹名鑑圖ニ山ノ半腹ニ社殿ヲ畫キ之ニ「高屋安倍神社三座、建沼別命、高橋丸、兄姫ヲ祭ル是安倍氏也。」ト記セリ。建沼川別ハ大彥命ノ子ニシテ安倍氏ノ